

The power of printing art

The power of printing art

プリンティング・アートの力 大いなる「日芸版画山脈」展

第Ⅰ期：2024年9月30日(月)～10月10日(木) (1972～2002年度) 休館日：10/6(日)

第Ⅱ期：2024年10月14日(月)～10月24日(木) (2003～2023年度) 休館日：10/20(日)

開館時間：10:00～18:00 観覧無料

場所：日本大学芸術学部 芸術資料館及びA&Dギャラリー (東京都練馬区旭丘2-42-1)

出品作家：日芸版画教育に携わった教員29名(専任及び非常勤)／卒業生 約50名

*教員作品は全期展示、卒業生は1期、2期に分けて展示

シンポジウム

「日芸版画を語る」

日時：10月6日(日) 14:00～17:00

場所：日本大学芸術学部江古田校舎A棟

コーディネーター：大熊敏之

第1部：「日芸版画とは何か。」

登壇者：有地好登、原健、笹井祐子、川船敬(ギャラリー川船)

第2部：「わたしたちの日芸版画」

登壇者：大橋朋美、早川克己、日比野絵美、関貴子、東尾文華

ギャラリートーク

「日芸版画じゃあにい」

荒井良二X笹井祐子

日時：10月19日(土) 14:00～16:00

場所：日本大学芸術学部A&Dギャラリー

主催：美術学科版画研究室

後援：版画学会

助成：日本大学芸術学部学部長指定研究

N^①U
Art

日本大学芸術学部

プリンティング・アートのカ 大いなる「日芸版画山脈」展

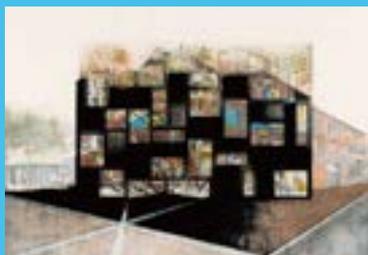
日本大学芸術学部美術学科の中で版画教育が始まって現在に至るまで50年という月日が経ちました。

これまで全貌が一切展望、回顧されることのなかった日芸での版画教育の歴史と意義、さらには教員と卒業生の制作活動が日本現代版画界に果たしてきた役割と歴史的展開の全貌を明らかにすることを目的としています。

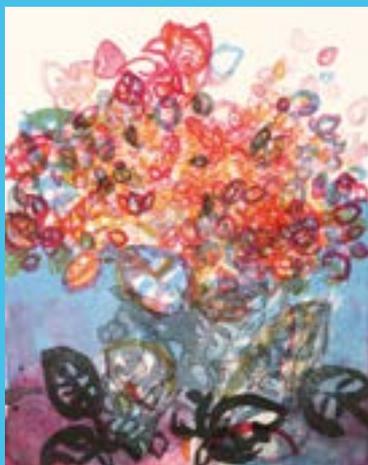
その過程で主要な基礎的課題となるのが、新旧教員と卒業生、修了生の制作活動の事歴の確認と現存作品の確認、さらには、日芸での版画教育にしかみられない他学とは異なる優れた特

色とは何であったのかを、国内の他芸術系大学での版画教育との比較を通じて検証することであると考えています。

日本大学芸術学部版画教育と卒業生の活躍の歴史を立体的に展望することが本研究の主目的であります。それと同時に、日芸版画教育の魅力を一般の観覧者のみならず、版画に興味関心を抱く若い世代や中高校生と保護者の方々にも実体化をもって発信することで、未来に向けてプリンティング・アートの力を再生し、新たなグラフィックアーツ表現の可能性を本学から提示することも強く意図しています。



有地好登 The reflected scenes-turning point 1996



笹井祐子 Camino de la orduña 2011



大橋朋美 piece of memory scattering and reconstruction.2021.02.11 2021



荒井良二 ケモノガタリ 2017



奥山庸子 expand my world 2020



遠藤美香 敷石 2017



東尾文華 味わうごとく季節を呼び起こす 2023



日比野絵美 no title 2023



菊池史子 花壇 #1 2010



日本大学芸術学部 芸術資料館 及び A&Dギャラリー

176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1
お問い合わせ: tel.03-5995-8230 (美術学科)
<http://www.art.nihon-u.ac.jp>

西武池袋線 江古田駅北口より徒歩1分
都営大江戸線 新江古田駅より徒歩7分



日本大学芸術学部